

東京都立大学 FD・SDセミナー

ウィズコロナ時代の大学教育と学生支援

授業実践発表

大学教育センター

中村 麻衣子

実践英語II 2年生向けの必修授業。学生数は19~23名

使用テキスト: **British News Update 2** (金星堂)



2分程度のBBCニュースクリップを使用したコースブック
ボキャブラリー問題、ディクテーション、内容把握など。

テーマ：街づくり、ファッションと環境汚染、温暖化に対する学生ストライキ
若者とスマホ依存、など。

* 対面授業実施時

- ・リスニングを授業内で行うことが多い→発音練習、クイズ的要素
- ・授業外学習時間が少ない。

* オンライン授業

- ・ 授業時間90分を3つのパートに分割。

1: 冒頭 10分

2-3名の担当者が個人プレゼンテーション。

テーマは「推し・おすすめカルチャー」の紹介。(後期から)

2: テキストの使用

ビデオは事前に視聴し、ディクテーションなどは予習しておく。

授業中に確認作業をグループで行い、後に全体で確認。

3: 最後の20-25分

グループに分かれ、担当者が「気になるニュース」について発表し議論する。

前期：発表者がニュースを持参し議論も仕切っていた。

後期：モデレーターを決め、発表者は発表に集中してもらう。フリーライダーの予防。

* 対面授業との比較

- ・ メリット：授業外学習時間が確保できた。
文化的背景等について、映像などを交えながらの解説がしやすい。
ツールとしての英語という意識の定着。

- ・ デメリット：知識を問うことは困難→問い方を変える必要性。
英語力の伸びに差が生じる。
非言語的コミュニケーションが困難。カメラON/OFFの問題。
ネット環境に大きく左右される。